

## 久留米市立地適正化計画（案） に対するパブリック・コメントの結果について

平成29年1月4日（水）から平成29年2月3日（金）までの期間で、久留米市立地適正化計画（案）についてパブリック・コメントを実施し、市民の皆様からのご意見を募集していましたが、その結果及び意見に対する回答がまとまりましたので、ご報告いたします。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

なお、意見の内容につきましては、原文を一部要約しております。

### 1 提出方法

方法	人数・団体数	意見の件数
持参	3名	6件
インターネット	1名	9件
郵送	1名・1団体	1件
ファックス	5名・2団体	15件
計	10名・3団体	31件

### 2 意見の内訳

区 分	意見の件数
1（2）久留米市立地適正化計画の策定について	3
2（2）人口減少と高齢化により進展する課題	2
5（2）誘導施設の設定について	2
6 誘導施策の展開	1
8 その他	3
計画全体について	4
その他都市計画関連	6
その他農地転用関連	2
その他	8
計	31

### 3 意見の概要とそれに対する市の考え方

久留米市立地適正化計画（案）に対するご意見の主旨と市の考え方は、以下（別添）のとおりです。

## 久留米市立地適正化計画（案）に対する意見及び市の考え方

### 1（2）久留米市立地適正化計画の策定について

No	意見者	意見概要	市の考え方
1	団体	P 3 の『<久留米市立地適正化計画の位置付け>』の【その他、関連する計画】に『人の流れを創り出す』文化芸術に関する計画を追加してもらいたい。	文化芸術に関する計画は等の中に含まれる計画としていましたが、ご指摘を踏まえ、必要な修正を行います。
2	団体	草野・田主丸等の観光拠点と既存の鉄道を新たな交通網で結び、回遊性の向上を図って欲しい。	ご意見につきましては、関係部局とも連携しながら、具体的な取り組みを進める際の参考とさせていただきます。
3	団体	周辺市町との連携を強化し、公共施設を共有することで、各施設の充実や人の移動の活性化、行政の負担軽減に繋がるのではありませんか。	本計画書（案）3 ページにありますように、広域連携に関する視点につきましては、目指すべき都市の実現のため、重要と考えています。ご意見につきましては、本計画に基づき、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。

### 2（2）人口減少と高齢化により進展する課題

No	意見者	意見概要	市の考え方
4	団体	P 8 などの『進展する課題』の表現は、プラスの発展をイメージさせるため『進行する課題』に変更すべきではないか。	ご指摘を踏まえ、必要な修正を行います。
5	団体	P 1 1 の『利用人口と都市機能』の図に、福祉が高齢者だけを対象としているものではないため、『障害者施設』と『児童保育施設』を追加すべきではないか。	ご意見の趣旨を踏まえ、『対象施設が資料に記載されているものに限るものではない』との注釈を追記します。 また、日常生活に必要な福祉や子育て施策などについて、全庁的な連携のもと取り組みます。

5 (2) 誘導施設の設定について

No	意見者	意見概要	市の考え方
6	個人	中心拠点については、既に高次医療施設が立地しており、これからは、100床以下の病院・診療所が必要になるのではないか。	既に中心拠点に立地している高次医療施設については、将来においても、維持する必要がある施設と考えています。 また、中小規模な病院・診療所は、地域生活拠点と同様、中心拠点にも誘導する施設としており、本計画書（案）23ページの記載などについては、分かりやすい表現に修正いたします。
7	個人	スーパーマーケットの平均売場面積は、約1300㎡で、1600㎡以上の割合が少ない。また、駅ビル・地下街は小型店舗が多く、郊外は大型店舗が多い。 このような実態を踏まえると、中心拠点に誘導する商業施設の規模である面積3000㎡超は、大き過ぎるのではないか。	中心拠点については、既に立地している大規模商業施設を含め、必要な施設と考えています。 また、店舗面積500㎡超のスーパーマーケットについても、地域生活拠点と同様、中心拠点にも誘導する施設としており、本計画書（案）23ページの記載などについては、分かりやすい表現に修正いたします。

6 誘導施策の展開

No	意見者	意見概要	市の考え方
8	個人	中心拠点内の医療施設については、施設の耐震化と他施設との複合化などのコンパクト化を進める必要があるのではないか。	本計画は、都市づくりの基本的な方向性を示すものとなっており、具体的な事業について記載しておりません。 ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。

8 その他

No	意見者	意見概要	市の考え方
9	個人	今後、誘導区域外において増加が想定される空き地・空き家の課題について市の考えは。	今後の人口減少に伴い、誘導区域内外を問わず、空き地・空き家の増加が想定され、市全域でその対応について取り組む必要があると考えます。 このため、本計画と連携し、各地域への移住・定住を促進する施策への取り組みと併せ、地域の特性を活かしたまちづくりについても全庁的に取り組みます。
10	個人	人口減少の更なる進行により、地域コミュニティの維持が特に困難と予想される誘導区域外に対する市の考えは。	本計画書（案）30ページのその他に記載しているように、誘導区域外における既存集落のコミュニティ維持についても、重要と考えています。
11	団体	拠点以外の地域の生活課題は一層深刻化すると考えられることから、賑わい、利便性等の視点だけでなく、地域が過疎化しても、住み慣れた所で安全・快適に暮らせるように防災や福祉、買い物などの環境整備も同時に行っていく必要があるのではないか。	本計画は、全ての人口を居住誘導区域内へ誘導するものではなく、人口が減少する社会においても、日常生活機能が享受できる拠点を形成することで、区域外を含む地域全体の生活利便性の確保を目指す計画です。 このようなことから、立地適正化計画に基づきネットワーク型のコンパクトな都市づくりを推進するとともに、区域外の地域については、空き家対策や拠点までの移動手段の確保、また、日常生活に必要な福祉や商業施策などについて、全庁的な連携のもと取り組みます。

計画全体について

No	意見者	意見概要	市の考え方
12	個人	<p>総務省の調査によると、30年後の日本の人口は8千万人となり、地方都市の急速な弱体化が考えられる。</p> <p>しかし、久留米市は、本計画の成果により、九州でも唯一、発展可能な都市になると思う。このため、本計画を強力に推進して欲しい。JR久留米駅、六ツ門、西鉄久留米駅周辺地区は、高度な都市機能を誘導し、特に、西鉄久留米駅周辺は、交通の拠点性を活かし、銀行や病院などの都市機能を民間投資により呼び込み、繁栄を取戻すことで筑後地域全体が活性化すると考える。</p>	<p>30年後の久留米市の人口も、現在の約30万人から約24万人に減少すると推計されており、人口減少と超高齢社会などに対応した都市構造への転換が必要です。</p> <p>そのような中、中心拠点である西鉄久留米駅周辺は、重要な交通拠点であり、その周辺に高次都市機能の維持・誘導を図ることが必要と考えています。</p> <p>このようなことから、本計画に基づき目指すべき都市構造の実現に向けた取り組みを進めます。</p>
13	個人	<p>コンパクトシティ先進事例における『成功していない』との評価に対する市の考えは。</p>	<p>人口減少、超高齢社会に対応した都市構造への転換については、長期的かつ継続的に取り組むことが必要です。</p> <p>本計画に基づき、都市づくりを推進するにあたり、目標値を設けることで達成状況を評価し、全国的な動向にも注視しながら、適宜、内容を見直すことで、計画の着実な進捗を図っていきたいと考えています。</p>
14	団体	<p>人口減少の負のスパイラルについては、本計画などのハード面の計画だけで解決することは困難であり、若い人たちが安心して働き、結婚し、子どもを生き育てられるような環境づくりが重要だと考える。そのため、市の全部局が連携し、あらゆる方面から取り組んでいく必要がある。</p>	<p>ご意見のとおり、人口減少対策については、本計画に基づく都市づくりのみではなく、各部局が連携し、全庁的に取り組んでいきます。</p>
15	団体	<p>下記の用語の注釈を付け欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P1の『インセンティブ』</li> <li>・ P26の『MICE』</li> <li>・ P26の『エリアマネジメント』</li> </ul>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>

その他都市計画関連

No	意見者	意見概要	市の考え方
16	個人	城島町は『農用地区域』が多く、新たな宅地分譲や企業誘致が非常に難しい地域である。そのため、『用途地域』を指定する意味が無く、今のままの『準都市計画区域』でよいのではないか。	ご意見の内容については、別途進めております都市計画の見直し（用途地域、特定用途制限地域の指定等）に関するものとなります。 都市計画の見直しについては、今回同様、ご意見を求める機会を設ける予定としております。
17	個人	国道385号沿線については、将来に向けて発展させる区域なので『特定用途制限地域』の『幹線沿道地区』に指定して欲しい。	
18	個人	『行政負担を減らす目的で「特定用途制限地域」の指定を行う』と明記すべきではないか。	
19	個人	下田地区には、スーパーがなく買い物に不自由している。県道133号坊所城島線のコミュニティセンター近辺に『特定用途制限地域』の『幹線沿道地区』を指定してほしい。	
20	個人	国道385号沿線については、1500㎡以下の店舗が立地可能な『特定用途制限地域』の『幹線沿道地区』への指定して欲しい。	
21	個人	都市計画の見直しについては、具体的な年数を決め、情勢に合った見直しをして欲しい。	

その他農地転用関連

No	意見者	意見概要	市の考え方
22	個人	農業従事者が、『農地転用』を希望すれば、転用できるようにして欲しい。	ご意見の内容については、別途進めている都市計画の見直し及び農業振興地域における農振除外・農地転用に関するものとなります。 これらについては、農用地区域からの除外要件や農地転用許可の基準を満たすことが必要となります。目指す都市像の実現のための、このような制度の見直しなどについては、市の農政部局と連携し、国・県への働きかけを行ってまいります。
23	個人	本計画実施に当たっては、犬塚小学校（旧犬塚保育園）北側などの『農用地区域』を除外する計画に、見直して欲しい。	

その他

No	意見者	意見概要	市の考え方
24	個人	週間東洋経済（2017年1月28日号）に、『居住誘導区域』は、人が住んで欲しい地域で、『居住誘導区域外』は人に住んで欲しくない地域とあるが、久留米市も同じ考えなのか。	本計画書（案）30ページのその他に記載しているように、誘導区域外における既存集落のコミュニティ維持についても、重要と考えています。 本計画は、全ての人口を居住誘導区域内へ誘導するものではなく、人口が減少する社会においても、日常生活機能が享受できる拠点を形成することで、区域外を含む地域全体の生活利便性の確保を目指す計画です。 このようなことから、各地域の拠点形成と併せ、区域外の地域についても、他の施策と連携のもと総合的な取り組みを進めます。
25	個人	田主丸、北野、城島、三潴地域は、国外へ向けた農産物の生産を行うべきである。そのため、行政は、久留米大学への農学部を増設を支援すべきであり、生産者と一体となって久留米の気候風土にあった農作物の開発を行うべきではないか。	地域の豊かな自然・田園を活用した都市づくりについては、久留米市都市計画マスタープランの中で、都市整備の基本的な方針として記載しております。 本計画を策定し、目指すべき都市構造に転換することは、上記のような基本方針を実現する一助となると考えております。 また、ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。

26	個人	<p>県下有数の学園都市であることを活かし、大学の学部の増設や高校の誘致等を行うことで、街の活性化や空き家対策にも繋がるのではないかと。</p> <p>中心市街地では、大型ショッピング店の誘致や、高齢者用マンションの建設とともに医療機関の整備などを行うことで生活利便性の向上を図ることが可能ではないかと。</p> <p>また、医療都市としての機能を果たすために、ペプチドワクチンの研究がなされている久留米大学病院との連携をより強くし、メディカル産業の誘致を試みるべきではないかと。</p>	<p>地域の特色を活用した都市づくりについては、久留米市都市計画マスタープランの中で、都市整備の基本的な方針として記載しております。</p> <p>特に中心拠点については、高度な都市機能の集積が必要と考えています。</p> <p>本計画を策定し、目指すべき都市構造に転換することは、上記のような基本方針を実現する一助となると考えております。</p> <p>また、ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。</p>
27	個人	<p>中心市街地のアーケード街を幅広のショッピングモールに再編し、また公園や池町川等のパブリックスペースを充実させることで、都市部の美しい、余裕のある空間を実現することができるのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、中心市街地を含む中心拠点については、県南の広域拠点として魅力ある都市づくりが必要と考えています。</p> <p>本計画は、持続可能な都市づくりに向けた基本的な方向性を示すものであり、ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。</p>
28	個人	<p>中心市街地は、公共交通機能を充実させ、都市計画で指定されている駐車場整備地区を見直し、駐車場以外の開発が進むようにする必要があるのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、中心市街地を含む中心拠点については、県南の広域拠点として高次都市機能を集積、他の拠点との公共交通ネットワークを充実させることが重要であると考えています。</p>
29	個人	<p>中心市街地にシネマコンプレックスや大型商業複合施設を誘致し、車は、郊外部に駐車し、中心市街地を歩くスタイルが出来れば良いのではないかと。</p>	<p>本計画は、持続可能な都市づくりに向けた基本的な方向性を示すものであり、ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。</p>
30	個人	<p>中心市街地ではマンションが多く建設されているが、都市計画の手法などの活用により、福岡市の『浄水通り』のような、よりグレードの高い住環境としてのまちづくりが出来れば良いと考える。</p>	<p>ご意見のとおり、中心市街地を含む中心拠点については、県南の広域拠点として魅力ある都市づくりが必要と考えています。</p> <p>本計画は、持続可能な都市づくりに向けた基本的な方向性を示すものであり、ご意見につきましては、本計画に基づき、今後、具体的な施策を進める際の参考とさせていただきます。</p>

31	個人	コンパクトシティとして、鉄道駅から徒歩10分圏内に住民のほとんどを誘導し、高層の住宅や学園などを構築する都市を目指してはどうか。また、それ以外の周辺地域は自然資源を確保することが必要ではないか。	ご意見のとおり、鉄道駅周辺に拠点を形成することは、これからの都市づくりにおいて必要と考えています。 しかし、本計画は、居住誘導区域外の人口を区域内へ誘導するものではなく、人口が減少する社会においても、日常生活サービス機能を享受できる拠点を形成することで、区域外を含む地域全体の生活利便性が確保できる都市を目指しています。
----	----	---	---